

D 上級コース群（関東）

概要

このコース群は、一流の専門家を講師とし、争訟、審判決例、講義形式としては最高水準のコースで、Cコース群（中級）修了者またはそれに準ずる実力を有する方が、より高度な実力を養成するのに最適です。

PCライブ研修 上期開催	募集定員:200名
D01	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <h2 style="margin: 0;">特・実、審判・審決取消訴訟</h2> </div> <div style="background-color: #E91E63; color: white; padding: 5px; font-size: 10px; text-align: center;"> 初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから。 </div> </div>

概要

本コースは、審判・審決取消訴訟の制度全般およびその実務並びに最近の審判決例について、実務経験豊かな講師により講義をしますので、審判及び審決取消訴訟関係の実務を既に行っている方にも、また今後行うであろう方にも大変有意義な内容です。

開催日		講義科目	講師
6/9(水)	午前	1.審判制度と実務	鈴榮特許総合事務所 弁理士 飯野 茂 氏
	午後	審判制度と実務	
6/28(月)	午前	2.審決取消訴訟の理論と実務（1）	桜坂法律事務所 弁護士 牧野 知彦 氏
	午後	審決取消訴訟の理論と実務（2）	桜坂法律事務所 弁護士 古城 春実 氏
8/26(木)	午前	審決取消訴訟の理論と実務（3）	桜坂法律事務所 弁護士 堀籠 佳典 氏
	午後	3.最近の審判決例の解説（電気）	特許業務法人 志賀国際特許事務所 弁理士 丹治 彰 氏
9/8(水)	午前	4.最近の審判決例の解説（機械）	東京セントラル特許事務所 弁理士 山本 晃司 氏
	午後	5.最近の審判決例の解説（化学）	ユアサハラ法律特許事務所 弁理士 山本 修 氏

申込みコード：D01-P1

1. 審判制度と実務

審判の種類、手続方法、特許庁の審理など審判制度全般とその実務について解説します。特に、特許拒絶査定不服審判、特許訂正審判、特許無効審判、特許異議申し立てについて、制度趣旨、制度の概要、手続き、審判請求書、異議申立書の記載方法、特許庁での審理とそれに対する対処方法を、特許庁の審判便覧等に基づいて、解説します。

2. 審決取消訴訟の理論と実務

裁判制度における特許等関係訴訟の位置づけおよび判例を用い、その中での重要な法律問題にも触れながら（or重要な法律問題を中心に）、審決取消訴訟の提起から終了までの訴訟制度全般とその実務について解説します。

3.4.5. 最近の審判決例の解説

「電気」、「機械」、「化学」の各分野における最近の審判決例について、それぞれ専門の講師から、裁判所の判断およびその理由並びに講師の解釈も交えて解説します。

PCライブ研修 下期開催	募集定員: 200名
D01	特・実、審判・審決取消訴訟

初回開催日の
 2週間前まで申込可能です。
 お申込みはこちらから。

概要

本コースは、審判・審決取消訴訟の制度全般及びその実務並びに最近の審判決例について、実務経験豊かな講師により講義をしますので、審判及び審決取消訴訟関係の実務を既に行っている方にも、また今後行うであろう方にも大変有意義な内容です。

開催日		講義科目	講師
10/4(月)	午前	1. 審判に関する法制度と実務 不服審判、無効審判、訂正請求	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 田上 洋平 氏
	午後	2. 最近の注目審判判決例の解説（化学）	ユアサハラ法律特許事務所 弁理士 山本 修 氏
11/15(月)	午前	3. 審決取消訴訟に関する法制度と実務 I 手続概要、訴訟提起、請求原因	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 田上 洋平 氏
	午後	4. 最近の注目審判判決例の解説 I （電機・機械）	レクシア特許法律事務所 弁理士 立花 顕治 氏
12/13(月)	午前	5. 審決取消訴訟に関する法制度と実務 II 発明の要旨認定、新規性・進歩性判断	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 田上 洋平 氏
1/24(月)	午前	6. 審決取消訴訟に関する法制度と実務 III 審理、判決、侵害訴訟との関係	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 田上 洋平 氏
	午後	7. 最近の注目審判判決例の解説 II （電気・機械）	レクシア特許法律事務所 弁理士 立花 顕治 氏

申込みコード：D01-P2

1. 審判に関する法制度と実務 不服審判、無効審判、訂正請求

不服審判・無効審判・訂正請求の法制度および方式審査、審理手続きなどの各種手続き方法など審判制度全般とその実務について解説します。

2. 最近の注目審判判決例の解説 I（化学）

化学分野における最近の審判決例について、専門の講師から裁判所の判断およびその理由並びに講師の解釈も交えて解説します。

3.5.6. 審決取消訴訟に関する法制度と実務 I II III

審決取消訴訟の法制度および訴訟提起、特許請求の範囲の解釈、訴訟審理、判決の効力と拘束力、上告手続きなどの各種実務手続きについて、最近の審理傾向にも触れつつわかりやすく解説します。

4.7. 最近の注目審判判決例の解説（電機・機械） I II

知財高裁については進歩性が厳し過ぎるとされた時期もありましたが、近年、プロパテント的傾向で安定し、審査実務も後追いしています。但し、個々の事件を見ると裁判所による違いも見られます。本講義は、電機・機械におけるボーダー的な事件を紹介し、実務上の指針となるよう解説します。

PCライブ研修		募集定員:200名
D03	商標・不競法審判決例と企業における対応	初回開催日の2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから。

概要

このコースは、講師の豊富な実務経験を背景として審判決例に基づいての商標法および不正競争防止法などの理論と実際を、また、商標事件・不競法事件への企業の戦略的な対応について講義します。

開催日		講義科目	講師
6/10(木)	午前	1.商標に関する審判決例の解説	特許業務法人 深見特許事務所 弁理士 齋藤 恵 氏
	午後	商標に関する審判決例の解説	
7/2(金)	午前	商標に関する審判決例の解説	特許業務法人 深見特許事務所 弁理士 齋藤 恵 氏
	午後	2.商標権侵害訴訟および不正競争防止法等判例の解説	西村あさひ法律事務所 弁護士 大向 尚子 氏
9/1(水)	午前	商標権侵害訴訟および不正競争防止法等判例の解説	西村あさひ法律事務所 弁護士 大向 尚子 氏
	午後	商標権侵害訴訟および不正競争防止法等判例の解説	
9/13(月)	午前	3.商標事件・不競法事件の企業戦略と実務対応	東京都知的財産総合センター 小山 雅夫 氏
	午後	商標事件・不競法事件の企業戦略と実務対応	

申込みコード：D03-P1

1. 商標に関する審判決例の解説

商標の実務に必須の類否判断と顕著性判断、識別力に強弱の差がある結合商標の類否判断、取引の実情と類否判断、さらには類似と混同の関係等について、最新の事例を含む豊富な審判決例の紹介を通じて、実務に直結した解説をします。

2. 商標権侵害訴訟および不正競争防止法等判例の解説

商標権侵害や不正競争防止法違反の成否のポイントは何か。商標権より不正競争防止法の主張が有利な場合とは。商品等表示や形態模倣など標識系を中心に、信用毀損行為等、知的財産保護のための関連規定を含めて、法改正・裁判例動向にも触れつつ重要判例を中心に解説します。

3. 商標事件・不競法事件の企業戦略と実務対応

企業の事業活動に関連して様々な商標事件や不正競争防止法事件が発生しており、この種の事件に適切に対応することは経営上極めて重要になります。企業の重要なブランドやペットネームの権利取得上の諸問題および模倣事件等々への対応にかかる戦略と実務について、事例紹介を交えて解説します。

D06

特許侵害訴訟

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから。

概要

知的財産権が重視される今日、特許をめぐる係争の数も増え、話題に挙がることが多くなっております。本コースは、企業において特許係争の処理、および予防業務に携わる知的財産部門の方々を中心に、特許侵害訴訟に興味のある方々を対象として、特許侵害訴訟において第一線で活躍されている弁護士の方々が要点および実務における必要事項をご講義します。

特許侵害訴訟の提起から終了まで講義した後、重要判例や最新の判例を含めて、判例について各先生方の解釈を中心に、テーマに沿って講義を行う内容となっております。

開催日		講義科目	講師
7/16(金)	午前 午後	1.特許権侵害訴訟の概論	森・濱田松本法律事務所 弁護士 飯塚 卓也 氏
	午後	2.侵害訴訟における争点整理と要件事実、証拠調べ	ユアサハラ法律特許事務所 弁護士 磯田 直也 氏
8/25(水)	午前	侵害訴訟における争点整理と要件事実、証拠調べ	ユアサハラ法律特許事務所 弁護士 磯田 直也 氏
	午後	3.侵害成否の論点をめぐる実務 (クレーム解釈及び均等論)	LTE法律事務所 弁護士 橋口 尚幸 氏
9/14(火)	午前	侵害成否の論点をめぐる実務 (クレーム解釈及び均等論)	LTE法律事務所 弁護士 橋口 尚幸 氏
	午前 午後	4.侵害成否の論点をめぐる実務 (侵害成否の諸問題)	桜坂法律事務所 弁護士 牧野 知彦 氏
9/30(木)	午前	5.侵害訴訟における無効主張と 特許無効審判	KSIパートナーズ法律特許事務所 弁護士 井上 義隆 氏
	午後	6.侵害に対する救済としての損害賠償	粟田法律事務所 弁護士 粟田 英一 氏

申込みコード : D06-P1

1. 特許権侵害訴訟の概論

特許権侵害訴訟の概要について、訴え提起から弁論準備手続を経て訴訟の終了に至る展開を時系列的に説明します。それと併せて、民事訴訟法の基本原理である処分権主義、弁論主義、職権進行主義、自由心証主義を紹介しつつ、民事訴訟の基礎的な用語の意義及び関係も説明し、民事訴訟法入門も兼ねる内容となっております。併せて、特許権侵害差止めに係る仮処分命令を中心として民事保全制度の概要を説明します。

2. 侵害訴訟における争点整理と要件事実、証拠調べ

特許侵害訴訟の円滑かつ適切な審理進行のためには、争点整理の手続、争点となりうる要件事実、及び、証拠調べの手続についての理解が必要不可欠です。本講義では、可能な限りの裁判例の紹介及びサンプル事案の訴状例、答弁書例を通じてより具体的に理解していただくことを目指します。

3. 侵害成否の論点をめぐる実務（クレーム解釈及び均等論）

本講義では、近年の傾向と判決動向の変遷、請求項の文言解釈における権利範囲と有効性について説明した上で、特許侵害訴訟におけるクレーム解釈の一般論（明細書、出願経過の参酌等）、侵害認定手法（合理的解釈、付加・利用等）、均等論について地裁・高裁の判例を引用しつつ、実務において生じる問題を解説します。

4. 侵害成否の論点をめぐる実務（侵害成否の諸問題）

本講義では、特許侵害訴訟における間接侵害、請求項該当を争うことなく提出する抗弁（特許無効の抗弁、先使用权、試験・研究、消尽・並行輸入、独禁法違反等）他の侵害成否の諸問題について地裁・高裁判例を引用しつつ解説します。

5. 侵害訴訟における無効主張と特許無効審判

特許の有効／無効は侵害訴訟と無効審判の2つのルートで争うことができます。本講義では、両ルートの手続上の相違に関する理解を深め、侵害訴訟における無効の抗弁と合わせて無効審判を提起する際に検討すべき問題などについて解説します。

6. 侵害に対する救済としての損害賠償

本講義は、侵害訴訟における損害賠償の審理の重要性が高まる状況下において、無体財産としての特殊性から規定された損害額算定の便宜のための特別規定の解釈並びに裁判例を概観し、知的財産権訴訟に関わろうとする者に対し、知的財産権侵害に対する救済としての損賠賠償の考え方等を示すことを狙いとしています。

D06

特許侵害訴訟

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから。

概要

知的財産権が重視される今日、特許をめぐる係争の数も増え、話題に挙がることが多くなっております。本コースは、企業において特許係争の処理、および予防業務に携わる知的財産部門の方々を中心に、特許侵害訴訟に興味のある方々を対象として、特許侵害訴訟において第一線で活躍されている弁護士の方々が要点および実務における必要事項をご講義します。

最新の法改正や裁判例の動向の紹介と併せて特許侵害訴訟の全体像をつかんだ後、実務に欠かせない訴訟手続の重要ポイントについて各先生方が講義を行う内容となっております。

開催日		講義科目	講師
10/13(水)	午前 午後	1.特許権侵害訴訟概論 審理手続の概要 (管轄を含む)	辻法律特許事務所 弁護士 辻 淳子 氏
	午後	2.特許侵害訴訟手続 (1) 特許侵害訴訟を支配するルール： 「要件事実」と「弁論主義」等	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
11/17(水)	午前	3.特許侵害訴訟手続 (2) 特許侵害訴訟の訴状と答弁書、審理	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
	午後	4.特許侵害訴訟手続 (3) 侵害成否を巡る論点 (クレーム解釈)	
12/15(水)	午前	5.特許侵害訴訟手続 (4) 侵害成否を巡る論点 (均等論) (間接侵害、先使用権、消尽)	久田原・久世法律事務所 弁護士 久世 勝之 氏
	午後	特許侵害訴訟手続 (4) 侵害成否を巡る論点 (均等論) (間接侵害、先使用権、消尽)	
1/21(金)	午前	6.特許侵害訴訟手続 (5) 救済措置 (差止め、損害賠償、 不当利得返還請求)	久田原・久世法律事務所 弁護士 久世 勝之 氏
	午後	7.特許侵害訴訟手続 (6) 仮処分、和解、証拠収集、無効の抗弁 と審判制度	

申込みコード：D06-P2

1. 特許権侵害訴訟概論

民事訴訟手続の構造についての基本的知識の確認や他の知的財産侵害訴訟等との比較を含めて特許侵害訴訟の特徴を説明して、その全体像をつかんでいただくとともに、本コース受講の前提となる知識を共有することを狙いとしています。最近の法改正や裁判例の動向も紹介します。

2. 特許権侵害訴訟手続（1）

特許侵害訴訟を含む民事訴訟は、法律の要件である「要件事実」と「訴訟物」の有無を裁判所が認定する手続です。本講では民事訴訟手続における最重要概念である要件事実、また、当事者に訴訟資料提出の権限と責任を持たせる「弁論主義」、その派生ルールである「主張責任」等の民事訴訟のロジックの真髓について説明します。

3. 特許権侵害訴訟手続（2）

本講では、特許侵害訴訟における審理目標であり確定判決が及ぶ効力を画する概念である「訴訟物」についての理解を前提に、訴状に記載すべき「請求の趣旨」、「請求の原因」、被告が答弁書に記載すべき「答弁の趣旨」について説明を加え、特許侵害訴訟がどのように審理されるかを具体的に説明します。

4. 特許権侵害訴訟手続（3）

特許権侵害訴訟においては、数々の論点が争いになりますが、本講では最も重要な論点である「クレーム解釈」にフォーカスを当て、原則論（特許請求の範囲優先の原則）、明細書の参酌の原則、機能的クレーム、プロダクト・バイ・プロセス・クレームの解釈といった重要論点について説明を加えます。

5. 特許侵害訴訟手続（4）

この講義の内容は、文言侵害以外の侵害の成否についてです。最初の均等論では、先般の知財高裁判決も踏まえ、実践的なお話をします。残る論点（間接侵害・先使用・消尽）についても、判例等の到達点についてポイントを押さえ実務で思い出せるようお伝えします。

6. 特許侵害訴訟手続（5）

この講義の内容は、特許権侵害により原告が裁判所に求める請求・救済措置である、差止と損害賠償等の金銭請求です。差止についてどのような差止を求めることができるのかを、損害賠償及び不当利得返還請求といった金銭的請求について民法を踏まえた特許法の規定の理解と利用をお話いたします。

7. 特許侵害訴訟手続（6）

本コース最終となる本講義では、実務において柔軟な対応をとるために理解しておくべき仮処分、和解等について解説を行います。また、特許権侵害訴訟と並走することの多い無効審判及び審決取消訴訟の留意点について説明します。

集合型研修

D15

交渉学（応用）

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みは「こちらから」。

概要

本コースは、C15「交渉学（入門）」の既受講者を対象として想定し、演習の比重を高めて知財実務に直接役立つ交渉スキルを実践的に習得させることを目指しています。本研修では、交渉力を鍛える上で不可欠となる3つの能力（論理的思考力、交渉戦略立案能力、交渉マネジメント能力）について、inputは最小限に留め、ケースに基づいた模擬交渉（ロールプレイ）やディスカッション、そしてフィードバックを組み合わせた体験的かつ実践的な講義展開によって習得していただきます。演習では複数のケースを採り上げますが、最新トピックスを取り込んだ知財を絡めたビジネス交渉の事例を扱います。交渉学に関する基礎的な知識をお持ちの方で、さらに実践的な知財交渉スキルを学びたい方に最適な内容となっています。

（本コースは、C15「交渉学（入門）」の続編として開催します。このため、受講対象者は「交渉学（入門）」を受講済、もしくはそれと同程度の知識・経験をお持ちの方に限らせていただきます。）

東京開催		研修会場：一般社団法人日本知的財産協会	募集定員：24名
開催日		講義科目	講師
2/8(火)	午前	1.交渉学の概要と知財ビジネス交渉のマネジメント 2.基本的な取引交渉（演習） 3.事業提携交渉（演習）	東京富士大学 教授 隅田 浩司 氏
	午後		

申込みコード：D15-T1

東京開催		研修会場：一般社団法人日本知的財産協会	募集定員：24名
開催日		講義科目	講師
2/24(木)	午前	1.交渉学の概要と知財ビジネス交渉のマネジメント 2.基本的な取引交渉（演習） 3.事業提携交渉（演習）	東京富士大学 教授 隅田 浩司 氏
	午後		

申込みコード：D15-T2

大阪開催		研修会場：一般社団法人日本知的財産協会 関西事務所	募集定員：24名
開催日		講義科目	講師
2/17(木)	午前	1.交渉学の概要と知財ビジネス交渉のマネジメント 2.基本的な取引交渉（演習） 3.事業提携交渉（演習）	東京富士大学 教授 隅田 浩司 氏
	午後		

申込みコード：D15-K1

名古屋開催		研修会場：イオンコンパス名古屋駅前・桜通口会議室	募集定員：14名
開催日		講義科目	講師
2/14(月)	午前	1.交渉学の概要と知財ビジネス交渉の マネジメント 2.基本的な取引交渉（演習） 3.事業提携交渉（演習）	東京富士大学 教授 隅田 浩司 氏
	午後		

申込みコード：D15-N1

1. 交渉学の概要と知財ビジネス交渉のマネジメント

- ・交渉学への招待・論理的思考と交渉力・事前準備の方法論・交渉のマネジメント
- ・交渉における心理バイアスとその克服

2. 基本的な取引交渉【演習】模擬交渉Part 1（一般ビジネス事例）

- ・事前準備（ケースの読み込み、グループでの戦略立案） ・ 1対1のロールプレイ
- ・振り返り（交渉相手、グループ） ・ 質疑応答・講評

3. 事業提携交渉【演習】模擬交渉Part 2（知財が関連する事例）

- ・事前準備（ケースの読み込み、グループでの戦略立案） ・ 1対1のロールプレイ
- ・交渉相手との振り返り・グループディスカッション・質疑応答・総括